

事業所名：南分倍保育園

---

令和4年度  
福祉サービス第三者評価  
評価結果報告書

評価機関(機構07-172)  
合同会社 福祉経営情報サービス

福祉サービス第三者評価結果報告書【令和4年度】

2023年 4月 10日

東京都福祉サービス評価推進機構  
公益財団法人 東京都福祉保健財団理事長 殿

〒 104-0061

所在地 東京都中央区銀座6-6-1銀座風月堂ビル5F

評価機関名 合同会社 福祉経営情報サービス

認証評価機関番号

機構 07 - 172

電話番号 03-5537-7750

代表者氏名 渡邊廣貴



以下のとおり評価を行いましたので報告します。

評価者氏名・担当分野・評価者養成講習修了者番号	評価者氏名		担当分野	修了者番号
	①		福祉	H2101009
	②		経営	H2101095
	③		経営	H0403033
	④			
	⑤			
	⑥			
福祉サービス種別	認可保育所			
評価対象事業所名称	南分倍保育園			
事業所連絡先	〒	183-0026		
	所在地	東京都府中市南町2丁目41番地39		
	TEL	042-361-9448		
事業所代表者氏名	竹田絵美			
契約日	2022年 12月 1日			
利用者調査票配付日(実施日)	2022年 12月 5日			
利用者調査結果報告日	2023年 1月 14日			
自己評価の調査票配付日	2022年 12月 5日			
自己評価結果報告日	2023年 1月 14日			
訪問調査日	2023年 2月 28日			
評価合議日	2023年 3月 18日			
コメント (利用者調査・事業評価の工夫点、補助者・専門家等の活用、第三者性確保のための措置などを記入)	事業評価： ・経営層記入事項について、課題として認識している項目については、その課題に対する対応状況等を聞き取り、現状の把握に努めた。 ・訪問調査ではサービス担当者による現場視察を午前・午後の時間に行い、サービス提供場面を極力把握する事に努めた。			

評価機関から上記及び別紙の評価結果を含む評価結果報告書を受け取りました。

本報告書の内容のうち、

- 機構が定める部分を公表することに同意します。
- 別添の理由書により、一部について、公表に同意しません。
- 別添の理由書により、公表には同意しません。

令和5年 3月 30日

事業者代表者氏名

竹田 絵美



1	<p><b>理念・方針（関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</b></p> <p>事業者が大切にしている考え（事業者の理念・ビジョン・使命など）のうち、特に重要なもの（上位5つ程度）を簡潔に記述 （関連 カテゴリー1 リーダーシップと意思決定）</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1) 基本的人権の尊重</li><li>2) 生命の保持</li><li>3) 子どもが安定し、充実する生活（様々な経験）</li><li>4) 保護者との協同や意向の充実</li><li>5) 職員の意欲向上</li></ol>
2	<p><b>期待する職員像（関連 カテゴリー5 職員と組織の能力向上）</b></p> <p>(1) 職員に求めている人材像や役割</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・保護者や子どもが安心する態度や言葉遣い</li><li>・清潔、清楚、控えめな態度</li><li>・健康で前向きな態度</li></ul> <p>(2) 職員に期待すること(職員に持って欲しい使命感)</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・子ども一人ひとりが力を発揮したり、安心して一日を過ごせるような包容力</li><li>・保護者が気軽に話せたり、相談をかけられる受容力</li><li>・職員間の共通認識を深めて特定の職員でなくても対応ができる</li></ul>

調査対象	保育園を利用している全世帯の保護者を対象に調査を行った。 1世帯で複数名の子どもが通園している場合は1回答とした。 子供総数：96 世帯数：78		
調査方法	・調査項目：東京都福祉サービス第三者評価の標準様式に準拠。 ・事業所への報告：自由回答については匿名性への配慮を行った上で事業所に報告した。		
利用者総数	96		
利用者家族総数(世帯)	78		
共通評価項目による調査対象者数	78		
共通評価項目による調査の有効回答者数	45		
利用者家族総数に対する回答者割合(%)	57.7		

## 利用者調査全体のコメント

総合的な感想では「大変満足」が回答の55%、「満足」が41%、「どちらともいえない」が4%であり、回答者の96%「大変満足」「満足」のいずれかを選択している。

総合感想の自由記述では、「優しく子どもを受けとめてくださり、感謝ばかりです。」「先生方の雰囲気も良く、子どもとしっかり向き合ってくださいているようで、子どもも日々楽しそうに過ごしており感謝しています。」「子供のことを考えて接していたり、園での様子を分かりやすく教えてくれるのでありがたいです。」など、園の保育への謝辞が多く見られた。そのほか、職員・対応に関する好評価も多く見られ、人員確保を心配する声もあった。また、製作や生活習慣の支援について高く評価する回答などもあった。意見としては保護者の行事負担など、保護者に関する内容等が見られた。

個別の設問では大部分の設問で自由意見が得られており、設問4(身近な自然や社会との関わり)で自由意見が比較的多く得られている。

なお、以下の利用者調査結果のコメントにある選択肢の回答率については「無回答・非該当」を除いた数値を参照して記載している。

## 利用者調査結果

共通評価項目 コメント	実数			
	はい	どちらとも いえない	いいえ	無回答 非該当
1. 保育所での活動は、子どもの心身の発達に役立っているか	45	0	0	0
回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由記述では「毎日少しずつ出来る事が増えているのが分かります。」「室内遊びが得意になった。」「子ども同士の関わりが多く設定されており、保育士の皆さんもその個に合わせた関わり方をしてくれている。」「知恵教室、ワイルドスポーツ、野外保育などイベントがいっぱいで子供が楽しく園生活ができています」と思っています」などの回答があった。				
2. 保育所での活動は、子どもが興味や関心を持って行えるようになっているか	44	1	0	0
回答者の98%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「毎日保育園であった出来事を嬉しそうに伝えてくれている。」「折り紙や塗り絵が好きになった。」「園で教えてもらったことや作ったものを、家で披露したり再度作ってみせたりしており、非常に興味関心を持って行っている。」などの回答があった。				
3. 提供される食事は、子どもの状況に配慮されているか	44	0	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者全員が「はい」を選択している。設問の自由記述では「給食もいろいろなメニューを工夫してくれており、個に合わせて量を調節できるようにしている。」「よく食べておかわりもしている。」「あまり好きではなくても、園では食べる。それは環境や工夫がそうさせているものだと思う。」などの回答があった。				

4. 保育所の生活で身近な自然や社会と十分関わっているか	35	7	3	0
回答者の78%が「はい」を選択している。設問の自由記述では「もしかしたら社会との関わりは薄いかもしれないが、最低限の機会はあると思う。」「自然には触れていると思います。社会は、このご時世もありますので、関わっているかは分かりません。」などの回答があった。そのほか、コロナ禍の影響を踏まえ、散歩や外遊びの機会を増やしてほしいとの要望なども見られた。				
5. 保育時間の変更は、保護者の状況に柔軟に対応されているか	34	3	0	8
「無回答・非該当」を除く回答者の92%が「はい」を選択している。自由意見では「電話連絡で対応して頂けるので、ありがたい」旨の回答等があった。				
6. 安全対策が十分取られていると思うか	31	9	0	5
「無回答・非該当」を除く回答者の78%が「はい」を選択している。自由意見では「ちょっとした怪我や体調の変化なども細かく職員同士で情報共有されており、お迎えの際に伝えてくれている。」という回答のほか、設備面等について心配な点を伝える意見が見られた。				
7. 行事日程の設定は、保護者の状況に対する配慮は十分か	34	9	2	0
回答者の76%が「はい」を選択している。自由意見では「早めの通知で対応できている」という回答や、お知らせの通知時期、行事の参加人数(制限)等についての回答が見られた。				
8. 子どもの保育について家庭と保育所に信頼関係があるか	35	9	1	0
回答者の78%が「はい」を選択している。自由意見では「都度気付いたことをアドバイスをしてくれて助かっている。」「ベテランの信頼できる職員が各学年に配置されているので、安心できる。」「聞けば答えてくれる環境だと思います。」などの回答があった。そのほか、「お迎えにしか話す機会がないので、お迎えの時に日中の様子をひと言は教えてもらいたい。」という回答もあった。				
9. 施設内の清掃、整理整頓は行き届いているか	43	2	0	0
回答者の96%が「はい」を選択している。自由意見では清掃状態について「綺麗にされている」という回答が多かった。そのほか、「毎朝専任の職員が掃除をしていて、おもちゃなどもきちんと整理整頓してしまっており、雑然とした雰囲気はない。」「季節ごとの装飾が可愛い」などの回答があった。				
10. 職員の接遇・態度は適切か	42	3	0	0
回答者の93%が「はい」を選択している。自由意見では「丁寧で素敵です。」「どの職員も丁寧な言葉遣いを心がけていて、お誕生会などの行事の際にはお揃いのシャツなどで雰囲気を盛り上げてくれている。」「ほとんどの職員は、明るく朗らかで、動き易くてかわいい服装だと思います。」などの回答があった。				

11. 病気やけがをした際の職員の対応は信頼できるか	43	2	0	0
回答者の96%が「はい」を選択している。自由意見では「ちょっとした怪我でも必ず伝えてくれ、お迎えの必要そうな事態の際にも確実に連絡をくれる。」「適切に対応し、必要に応じて連絡ももらえる。」などの回答があった。				
12. 子ども同士のトラブルに関する対応は信頼できるか	25	11	0	9
「無回答・非該当」を除く回答者の69%が「はい」を選択している。自由意見では「ケンカなどがあつたときもどちらかのせいにする事なく、状況がわからなかった時はその事実だけを伝えてくれる。」という回答のほか、幼児になると目が届かなくなるが、気がつけば対応はしてくれるであろうという主旨の回答などがあつた。				
13. 子どもの気持ちを尊重した対応がされているか	41	4	0	0
回答者の91%が「はい」を選択している。自由意見では「保育園での子どもの様子が聞けて、職員が子どもにどう関わってくれているのがよくわかり信頼できる。」「子どもも先生が好きだし、先生もよく見ていてくれる。」などの回答があつた。				
14. 子どもと保護者のプライバシーは守られているか	36	2	0	7
「無回答・非該当」を除く回答者の95%が「はい」を選択している。自由意見では「他言を聞いたことがないので、大丈夫かと思いません。」「不用意に他者の情報を伝えるようなことはされたことがない。」という回答のほか、毎日子どもの情報を記入する用紙の個人情報保護に関する回答などが見られた。				
15. 保育内容に関する職員の説明はわかりやすいか	40	4	0	1
「無回答・非該当」を除く回答者の91%が「はい」を選択している。自由意見では「難しい言葉を使うことなく伝えてくれる。」「保育の目標はおたよりでお知らせがあるが、その月の活動内容など明文化してあると保護者としても保育内容が伝わるので知りたい。」という回答や、「写真で提供される情報について、活動以外にも給食や玩具遊びなども提供されると保護者としてもうれしい」という旨の回答などがあつた。				
16. 利用者の不満や要望は対応されているか	33	3	1	8
「無回答・非該当」を除く回答者の89%が「はい」を選択している。自由意見では柔軟ではないという旨の回答があつた。				
17. 外部の苦情窓口(行政や第三者委員等)にも相談できることを伝えられているか	14	4	5	22
「無回答・非該当」を除く回答者の61%が「はい」を選択している。この設問の自由意見欄に回答はなかつた。				

## I 組織マネジメント項目(カテゴリ1～5、7)

No.	共通評価項目	
1	カテゴリ1	
	サブカテゴリ1(1-1)	
	事業所が目指していることの実現に向けて一丸となっている	サブカテゴリ毎の標準項目実施状況
	7/7	
	評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)を周知している	
	評点(〇〇)	
	評価	標準項目
	●あり ○なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、職員の理解が深まるような取り組みを行っている
	●あり ○なし	2. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)について、利用者本人や家族等の理解が深まるような取り組みを行っている
	○非該当	
○非該当		
評価項目2 経営層(運営管理者含む)は自らの役割と責任を職員に対して表明し、事業所をリードしている		
評点(〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任を職員に伝えている	
●あり ○なし	2. 経営層は、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けて、自らの役割と責任に基づいて職員が取り組むべき方向性を提示し、リーダーシップを発揮している	
○非該当		
○非該当		
評価項目3 重要な案件について、経営層(運営管理者含む)は実情を踏まえて意思決定し、その内容を関係者に周知している		
評点(〇〇〇)		
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 重要な案件の検討や決定の手順があらかじめ決まっている	
●あり ○なし	2. 重要な意思決定に関し、その内容と決定経緯について職員に周知している	
●あり ○なし	3. 利用者等に対し、重要な案件に関する決定事項について、必要に応じてその内容と決定経緯を伝えている	
○非該当		
○非該当		
○非該当		
カテゴリ1の講評		
<p>職員に園の理念を会議や面談で伝達し、保護者には入園時と各期説明会で伝えている</p> <p>職員には「保育基本ガイダンス」を用いて園の理念や方針が伝えられている。年3回行われる期毎の会議の場でも統括園長から方針が伝えられている。今年度から統括園長が職員を複数名ずつに分けて面談を実施し、方針の徹底を図っている。保護者には入園時に「園のしおり」を使って、保育理念・保育方針・保育目標が説明されている。また、保護者に対して、学期ごとにカリキュラム説明会があり、その場でも当期の保育方針やねらいが伝えられている。園のしおりはカラー版で、保護者に理解をして欲しい箇所を二重線で強調するなどの工夫もみられる。</p> <p>経営層と現場が情報の共有を行い、職員からの提案を受け入れる風通しの良さがある</p> <p>職員の職務分掌については経営層が決定し、年度初めに伝えられ事業計画書にも記載される。統括園長は週に数度園を訪れ職員と話し合いをおこなっている。園から経営層にも月次の報告がされるなど、状況の共有が図られている。保育の実践については施設長をはじめとする職員が主体性をもって当たっており、ボトムアップ型の運営をおこなっている。職員からの提案を受け入れて、乳児の受け入れ方法をより効率的に改善したり、腸活出来る体操を朝全員で行う事を始めたりと、風通しの良い職場となっている。</p> <p>重要事項は現場の状況を踏まえて決定がされ、職員や保護者への周知に努めている</p> <p>重要事項は年4回実施される理事会で決議されている。理事会での決定事項は常勤の職員が出席する職員会議で伝えられ、各クラスを通じて全員に知らされる。職員からの意見や要望をくみ取って設備の改善を行うなど、経営層は現場の実情を踏まえて判断をしている。保育に関する事項は毎月実施する職員会議で討議し、決定され、クラス会議やアシスタント会議を通じて全員へ周知される。保護者に対しては掲示板や連絡ノートなど複数の方法で周知をしている。保護者が掲示を見落としてしまう事もある為、周知徹底方法の改善を模索している。</p>		

カテゴリー2		
2 事業所を取り巻く環境の把握・活用及び計画の策定と実行		
サブカテゴリー1(2-1)		
事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 6/6
評価項目1 事業所を取り巻く環境について情報を把握・検討し、課題を抽出している		評点(○○○○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者アンケートなど、事業所側からの働きかけにより利用者の意向について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所運営に対する職員の意向を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域の福祉の現状について情報を収集し、ニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 福祉事業全体の動向(行政や業界などの動き)について情報を収集し、課題やニーズを把握している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 事業所の経営状況を把握・検討している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	6. 把握したニーズ等や検討内容を踏まえ、事業所として対応すべき課題を抽出している	<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリー2(2-2)		
実践的な計画策定に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画及び単年度計画を策定している		評点(○○●)
評価	標準項目	
<input type="radio"/> あり <input checked="" type="radio"/> なし	1. 課題をふまえ、事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた中・長期計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 中・長期計画をふまえた単年度計画を策定している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 策定している計画に合わせた予算編成を行っている	<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 着実な計画の実行に取り組んでいる		評点(○○)
評価	標準項目	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 事業所が目指していること(理念・ビジョン、基本方針など)の実現に向けた、計画の推進方法(体制、職員の役割や活動内容など)、目指す目標、達成度合いを測る指標を明示している	<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 計画推進にあたり、進捗状況を確認し(半期・月単位など)、必要に応じて見直しをしながら取り組んでいる	<input type="radio"/> 非該当
カテゴリー2の講評		
<p>保護者や職員の意向を把握し、地域や行政の変化を捉えて、園の活動に活かしている</p> <p>学期毎に行うカリキュラム説明会後の懇親会で保護者の意見や要望を聞いている。懇親会や行事の際にはアンケートを実施し、職員間で課題の共有と保護者へのフィードバックがされる。職員の意向は年間2回の施設長面談で聞いている。職員からは改善提案もあり、園内で解決するもの、法人として検討するものなどに分けて対応されている。統括園長は府中市私立保育園園長会の会長を務めており、地域の状況や行政動向の情報を園に提供して、園の保育活動に活かしている。</p> <p>年度計画の策定と振り返りがされているが、今後は中期計画の作成を期待したい</p> <p>法人として当園の年度計画が策定され、事業計画書としてウェブページでも公開されている。保育の計画は全体的な計画を基に、毎月の職員会議において具体的な内容が決定されており、子どもの発育に合わせた食事の企画や、季節を感じる行事の設営などが行われている。計画の作成に当たっては、前年度の振り返りが行われ、事業報告書として纏められている。事業報告書は事業所全体の活動が網羅され、保育の状況や設備改善や職員動向も分かる。法人として中期的な課題を認識しており、確実な実行の為に今後中期計画の策定を期待したい。</p> <p>子どもや保護者の意向を大切に、職員間で話し合いながら保育を実施している</p> <p>計画を実行するにあたっては毎月カリキュラム会議を実施し、前月の保育内容の振り返りをして保育の方向性を決めている。子どもの状況は日々の観察や職員間の情報交換で把握し、保育計画の策定と修正をしている。見直した指導方法については、保育ガイドンスの修正・追記をして共有されている。保護者の意向を捉える為に、年間3回のカリキュラム説明会を行っており、保護者からの意見や要望を行事等に反映させている。今期は行事への保護者参加人数を感染対策を徹底して一部緩和するなど、保護者の意向を実現した例もある。</p>		



3 経営における社会的責任			2/2
サブカテゴリ1(3-1)			
社会人・福祉サービス事業者として守るべきことを明確にし、その達成に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	2/2
評価項目1 社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理などを周知し、遵守されるよう取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 全職員に対して、社会人・福祉サービスに従事する者として守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などを周知し、理解が深まるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 全職員に対して、守るべき法・規範・倫理(個人の尊厳を含む)などが遵守されるよう取り組み、定期的に確認している。		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ2(3-2)			
利用者の権利擁護のために、組織的な取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用者の意向(意見・要望・苦情)を多様な方法で把握し、迅速に対応する体制を整えている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 苦情解決制度を利用できることや事業者以外の相談先を遠慮なく利用できることを、利用者に伝えている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用者の意向(意見・要望・苦情)に対し、組織的に速やかに対応する仕組みがある		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 虐待に対し組織的な防止対策と対応をしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用者の気持ちを傷つけるような職員の言動、虐待が行われることのないよう、職員が相互に日常の言動を振り返り、組織的に防止対策を徹底している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 虐待を受けている疑いのある利用者の情報を得たときや、虐待の事実を把握した際には、組織として関係機関と連携しながら対応する体制を整えている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ3(3-3)			
地域の福祉に役立つ取り組みを行っている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	5/5
評価項目1 透明性を高め、地域との関係づくりに向けて取り組んでいる		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 透明性を高めるために、事業所の活動内容を開示するなど開かれた組織となるよう取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. ボランティア、実習生及び見学・体験する小・中学生などの受け入れ体制を整備している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 地域の福祉ニーズにもとづき、地域貢献の取り組みをしている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 地域の福祉ニーズにもとづき、事業所の機能や専門性をいかした地域貢献の取り組みをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 事業所が地域の一人としての役割を果たすため、地域関係機関のネットワーク(事業者連絡会、施設長会など)に参画している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 地域ネットワーク内での共通課題について、協働できる体制を整えて、取り組んでいる		<input type="radio"/> 非該当

### カテゴリ-3の講評

#### 基本的な規範や倫理のガイダンスに加え、具体的な行動に繋げる各種ガイダンスがある

入職時に「保育基本ガイダンス」を用いて、社会人としての基本的なマナーや規範と、保育に従事する人間として守るべき倫理が教えられる。基本ガイダンスの他にも、具体的な行動基準を明示する各種の業務ガイダンスが整備されている。例えば保育ガイダンスには7種類があり、連絡帳記入時の留意点や製作指導や虐待防止に関するガイダンスがあり、実例を使った解説がなされている。これらのガイダンスには改訂のルールは定められていないが、責任者を決めて改訂の有無を管理し、改訂時に全員へ周知する取り組みが行われている。

#### 保護者の意見や要望を聞く仕組みがあり、共に育てる意識で保育が行われている

意見要望の窓口として、統括園長・施設長・チーフの名前が園のしおりに明記してある事に加え、園内にも掲示がある。保護者との話し合いの機会を多く持つように努めており、説明会や行事の時の懇親会やアンケートで意見や要望を聞いている。また、保育園側からも子どもの様子で気になる事があれば、保護者へ声を掛け、時間を作り話をする対応をしている。保護者と話す際は複数の職員で事前検討を行い、適切な対応をするように気を配っており、保護者と園が連携して子育てをしていきたいとの基本姿勢が表われている。

#### 地域の子育てを支援する活動と、中学生等との交流で保育の理解促進に努めている

月に1回、保育園で乳児交流会を実施している。コロナ禍もあり、参加者は毎回数名と少なくなっているが、保育園の遊具で遊んだり、絵本を読んだり毎回テーマを変えて、地域の育児を支援している。「こども110番」や「赤ちゃんふらっと」「緊急避難の家」に登録し、地域のニーズに応えている。実習生やボランティアの受け入れにも積極的に取り組むほか、中学校とも連携をして、家庭科の授業に年長組が参加するなどの交流を続け、保育や子育てへの理解促進に努めている。

カテゴリ4		
4	リスクマネジメント	
サブカテゴリ1(4-1)		
リスクマネジメントに計画的に取り組んでいる		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/5
評価項目1 事業所としてリスクマネジメントに取り組んでいる		評点(〇〇〇〇●)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が目指していることの実現を阻害する恐れのあるリスク(事故、感染症、侵入、災害、経営環境の変化など)を洗い出し、どのリスクに対策を講じるかについて優先順位をつけている	○非該当
●あり ○なし	2. 優先順位の高さに応じて、リスクに対し必要な対策をとっている	○非該当
○あり ●なし	3. 災害や深刻な事故等に遭遇した場合に備え、事業継続計画(BCP)を策定している	○非該当
●あり ○なし	4. リスクに対する必要な対策や事業継続計画について、職員、利用者、関係機関などに周知し、理解して対応できるように取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	5. 事故、感染症、侵入、災害などが発生したときは、要因及び対応を分析し、再発防止と対策の見直しに取り組んでいる	○非該当
サブカテゴリ2(4-2)		
事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況 4/4
評価項目1 事業所の情報管理を適切に行い活用できるようにしている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 情報の収集、利用、保管、廃棄について規程・ルールを定め、職員(実習生やボランティアを含む)が理解し遵守するための取り組みを行っている	○非該当
●あり ○なし	2. 収集した情報は、必要な人が必要ときに活用できるように整理・管理している	○非該当
●あり ○なし	3. 情報の重要性や機密性を踏まえ、アクセス権限を設定するほか、情報漏えい防止のための対策をとっている	○非該当
●あり ○なし	4. 事業所で扱っている個人情報については、「個人情報保護法」の趣旨を踏まえ、利用目的の明示及び開示請求への対応を含む規程・体制を整備している	○非該当
カテゴリ4の講評		
<p>水害対策等の危機管理がなされており、今後は事業継続の為のBCPの作成も期待したい</p> <p>当園は過去水害の影響で運動会が中止になったこともあり、水害対策に注力している。府中市で開催している水害対策の研修会に参加し、知識と対応策を学び、避難確保計画を作成している。災害避難訓練は月に1回実施されている。不審者に対する訓練は教材ビデオを参照しながら実施しているが、更に有効な対策がないかと検討を重ねている。災害や危機管理のガイダンスを整備し、発生時の対応が具体的に検討されているが、今後は更に発展させて、発生後に如何に通常の業務に復帰していくかまでを考えたBCPの作成を期待したい。</p> <p>ヒヤリハット事例は即時に対応と共有がなされ、通院事故は再発防止の詳細検討がされる</p> <p>日常の保育中に気が付いたヒヤリハットは、その時に職員が声を掛け、複数の人で対応がされている。ヒヤリハットの記入用紙が身近にあり、直ぐに事象と対策が記入されて「全体ノート」に添付される事で職員全員が閲覧をして、即時に共有が出来る仕組みがある。通院が必要となる事故については、詳細な経緯と対応状況、再発防止策までを決めて全員に周知されている。受診した事故件数については、事業報告書にも記載してウェブページで公開して透明性にも配慮がされている。</p> <p>パスワード管理や施錠管理など情報の保護が行われている</p> <p>個人情報の保護や守秘義務については、職員には入職時に、保護者には利用開始時に説明されている。園で使用しているパソコンにはパスワードが設定され、業者等が執務室に立ち入る時にはパソコン画面を閉じるなどの指導が行われている。個人情報を含む資料は施錠できるキャビネットで保管している。子どもの写真をパンフレットやウェブページ等へ利用する時は事前に保護者から同意を得る事になっている。</p>		

5 カテゴリー5		
5 職員と組織の能力向上		
サブカテゴリー1(5-1)		
事業所が目指している経営・サービスを実現する人材の確保・育成・定着に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 9/12
評価項目1 事業所が目指していることの実現に必要な人材構成にしている		評点(〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 事業所が求める人材の確保ができるよう工夫している	○非該当
●あり ○なし	2. 事業所が求める人材、事業所の状況を踏まえ、育成や将来の人材構成を見据えた異動や配置に取り組んでいる	○非該当
評価項目2 事業所の求める人材像に基づき人材育成計画を策定している		評点(●●)
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)が職員に分かりやすく周知されている	○非該当
○あり ●なし	2. 事業所が求める職責または職務内容に応じた長期的な展望(キャリアパス)と連動した事業所の人材育成計画を策定している	○非該当
評価項目3 事業所の求める人材像を踏まえた職員の育成に取り組んでいる		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 勤務形態に関わらず、職員にさまざまな方法で研修等を実施している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの意向や経験等に基づき、個人別の育成(研修)計画を策定している	○非該当
●あり ○なし	3. 職員一人ひとりの育成の成果を確認し、個人別の育成(研修)計画へ反映している	○非該当
●あり ○なし	4. 指導を担当する職員に対して、自らの役割を理解してより良い指導ができるよう組織的に支援を行っている	○非該当
評価項目4 職員の定着に向け、職員の意欲向上に取り組んでいる		評点(〇〇〇●)
評価	標準項目	
○あり ●なし	1. 事業所の特性を踏まえ、職員の育成・評価と処遇(賃金・昇進・昇格等)・称賛などを連動させている	○非該当
●あり ○なし	2. 就業状況(勤務時間や休暇取得、職場環境・健康・ストレスなど)を把握し、安心して働き続けられる職場づくりに取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	3. 職員の意識を把握し、意欲と働きがいの向上に取り組んでいる	○非該当
●あり ○なし	4. 職員間の良好な人間関係構築のための取り組みを行っている	○非該当
サブカテゴリー2(5-2)		
組織力の向上に取り組んでいる		サブカテゴリー毎の標準項目実施状況 3/3
評価項目1 組織力の向上に向け、組織としての学びとチームワークの促進に取り組んでいる		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 職員一人ひとりが学んだ研修内容を、レポートや発表等を通じて共有化している	○非該当
●あり ○なし	2. 職員一人ひとりの日頃の気づきや工夫について、互いに話し合い、サービスの質の向上や業務改善に活かす仕組みを設けている	○非該当
●あり ○なし	3. 目標達成や課題解決に向けて、チームでの活動が効果的に進むよう取り組んでいる	○非該当

#### カテゴリ-5の講評

OJTで複数の職員が関わって人材育成しており、今後はキャリアパスの作成を望みたい

保育士育成学校やハローワークへ求人を出し、令和5年4月入職で2名が決定している。新人は複数担任のクラスに配置して先輩の指導や相談をしやすい環境作りに努めている。職員の育成は研修の受講とOJTにより行われている。月に1回のカリキュラム会議で保育や行事について話し合いをしたり、行事担当もクラスを超えた複数の職員が担当したりと、多くの人と関わる機会を活かしてOJTによる育成が図られている。キャリアパスや個人別育成計画は明文化されておらず、職員の中長期の育成を目指して、キャリアパスを作成する事を望みたい。

成長に応じた研修のねらいを提示し、研修受講を奨励している

5段階の経験年数に応じた研修計画一覧表があり、各段階の研修の「ねらい」と、その段階で習得して欲しい「内容」が記載されている。職員がそれを参考にして、必要な研修を受講する事を奨励している。研修後は研修報告が行われ、成果の確認が実施されている。年間2回の個人面談で個人の目標や意向を確認し、施設長からアドバイスも行われている。目標達成状況に応じた評価や処遇は行われていないが、法人の収支状況を踏まえて、職員の処遇の改善が行われており、職務に応じた手当の支給も実施されている。

チームワークを活かして、コロナ禍で制限のある中でも工夫した保育が実践されている

「豊かな感受性を得られる環境を整え」という、園の目指す保育の実現のために、職員が主体的に取り組み、コロナ禍の制限があっても工夫して行事を行うなど、チームワークを活かした活動が見られる。例えば、感染拡大で一度中止となった年中クラスの運動会も、職員が協力して別会場を確保し、保護者との連絡を再調整して開催を実現させた。職員同士は各クラスの仕切りが低いために声の掛け合いを頻繁に行ない、チームで保育を進めている。子どもの様子を担任以外の職員がよく知っていると保護者からも感謝の声がある。

カテゴリー7

7 事業所の重要課題に対する組織的な活動

サブカテゴリー1(7-1)

事業所の重要課題に対して、目標設定・取り組み・結果の検証・次期の事業活動等への反映を行っている

評価項目1

事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その1)

前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)

法人の理念の一つである「子どもにとって最もふさわしい生活の場として、最善の利益を守り、保護者と手を取り合い福祉を増進します」や「豊かな感受性を得られる環境を整え、子ども一人ひとりがのびやかに過ごす」を実現するために、子どもや保護者が安心出来る環境を整える事を目標とした。

その為に必要な改善として、

①園内の階段の手すりの修繕

②乳児用保育室の個人用ロッカーの改修

を実施する事とした。

実行に当たっては、現場の意見を聴き、安全性や使いやすさを考慮して、複数のプランから実行案を選定した。

<p>目標の設定と 取り組み</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</li> <li><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</li> </ul>
<p>取り組みの検証</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</li> <li><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>
<p>検証結果の反映</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</li> <li><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</li> <li><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</li> </ul>

評価項目1で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評

修繕と改修を行った結果、

①階段の手すりの登りはじめと登り終わりの部分を伸ばしたことで、格段に安定して利用出来るようになり、保護者からも安心だとの評価を得ている。

②乳児用の個人ロッカーを引き出し式のストッパー付きに新調した事で、子どもが一人で荷物を出し入れしても安心できる構造となり、一人でお片付けや準備が出来るようになった。

今後も、玄関オートロックの改修や園で保護者から現金を受け取らなくても済むような改善に取り組み、子どもの保育環境が良くなるような施設の整備を実施して、保護者にも喜んでもらえる様に改善を継続していく予定である。

<p><b>評価項目2</b> 事業所の理念・基本方針の実現を図る上での重要課題について、前年度具体的な目標を設定して取り組み、結果を検証して、今年度以降の改善につなげている(その2)</p>	
<p>前年度の重要課題に対する組織的な活動(評価機関によるまとめ)</p> <p>コロナ禍でも子どもたちの経験や成長のために、今まで行ってきた事を出来るだけ継続する必要があると考え、感染対策を施した上で、新しいやり方を模索しながら、保育事業を行う事とした。</p> <p>具体的には、</p> <p>①お遊戯会 ②運動会 ③新年会</p> <p>を感染対策に工夫しながら、実施する事とした。</p> <p>①お遊戯会は保護者へのライブ配信方式で実施した。 ②運動会は1クラスずつ行っていたものを改め、2クラス同時に実施した。 ③新年会は親子での食事がメインであったが、変更して役員保護者のスタッフ参加と一般保護者への抽選会実施で楽しんでもらった。</p>	
<p>目標の設定と 取り組み</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 具体的な目標を設定し、その達成に向けて取り組みを行った</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標を設定したが、その達成に向けて取り組みが行われていなかった</p> <p><input type="radio"/> 具体的な目標が設定されていなかった</p>
<p>取り組みの検証</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行った</p> <p><input type="radio"/> 目標達成に向けた取り組みについて、検証を行っていなかった(目標設定を行っていなかった場合も含む)</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p>検証結果の反映</p>	<p><input checked="" type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させた</p> <p><input type="radio"/> 次期の事業活動や事業計画へ、検証結果を反映させていない</p> <p><input type="radio"/> 設立後間もないため、前年度の実績がなく、評価対象外である</p>
<p><b>評価項目2で確認した組織的な活動や評語の選択に関する講評</b></p> <p>お遊戯会のライブ配信は、自宅で祖母や祖父を交えて見た方もおり、我が子が思っていたより良く見えたという好評なども得られている。2クラス同時に開催した運動会は、別のクラスの頑張りをお互いに子どもが見られる効果が大きいと再認識した。また、一度運動会が中止になったクラスを何とか実施出来たことは保護者の高い評価と職員の自信に繋がっている。新年会は食事に代えて、抽選会という楽しみを提供する事が出来た。</p> <p>制限された中でも柔軟に考えて工夫をすれば、目指す保育が出来る事が分かり、職員がアイデアを出し合う事で、感染対策と行事の両立が行われている。歴史ある保育園として、伝統ある行事の復活を望む声も多く、新しい取り組みと、従来からの行事のそれぞれの良さや意義を考えて、今後の保育活動を行っていく計画が立てられている。</p>	

II サービス提供のプロセス項目 (カテゴリ6-1~3、6-5~6)

No.	共通評価項目		
	サブカテゴリ1		
1	サービス情報の提供	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	4/4
評価項目1 利用希望者等に対してサービスの情報を提供している		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 利用希望者等が入手できる媒体で、事業所の情報を提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用希望者等の特性を考慮し、提供する情報の表記や内容をわかりやすいものになっている	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 事業所の情報を、行政や関係機関等に提供している	<input type="radio"/> 非該当	
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 利用希望者等の問い合わせや見学の要望があった場合には、個別の状況に応じて対応している	<input type="radio"/> 非該当	
サブカテゴリ1の講評			
<p>ウェブページやリーフレットで園の概要を分かりやすく伝えている</p> <p>園を紹介するウェブページがあり、園の保育方針や一日の保育の流れが紹介され、写真を多く使って、園児が楽しく遊んでいる様子や、散歩の状況などが分かりやすく掲載されている。また、ウェブページには事業計画書・事業報告書・第三者評価結果が添付されており、透明性に努める法人の姿勢がうかがえる。リーフレットも準備されており、保育目標や一日の流れ、年間行事計画などが記載され、見学者や入園希望者に配布されている。リーフレットは封筒サイズの三つ折りで、見学者の持ち帰りにも便利な大きさとなっている。</p> <p>市の広報誌や地域のフェアに参加し、積極的に情報発信を行なっている</p> <p>府中市が発行している「子育てのたまて箱」に園の方針や定員などの情報が掲載されており、同誌の別のページには園庭開放と未就園児保育実施施設として当園が行なっている乳児交流会も掲載されている。「子育てたまて箱」はインターネットでも閲覧が可能である。地域で開催される就職フェアや福祉フェアに職員が出向き、リーフレットを使って園の紹介をして、保育関係者や利用希望者をはじめ地域の多くの人に対して情報提供をしている。</p> <p>見学希望者には園の実際の保育の様子を見てもらおうように努めている</p> <p>園の見学希望は電話やメールで受け付けをしている。行事が開催される日以外であれば、極力希望に沿って見学を受け入れている。コロナの影響で制限を設けなければならないこともあるが、出来るだけ実際の保育の様子を直に見てもらえるように、見学の場所や時間帯などを工夫して実施している。</p>			



サブカテゴリ-2		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	6/6
2	サービスの開始・終了時の対応		
評価項目1 サービスの開始にあたり保護者に説明し、同意を得ている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービスの開始にあたり、基本的ルール、重要事項等を保護者の状況に応じて説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. サービス内容について、保護者の同意を得るようにしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスに関する説明の際に、保護者の意向を確認し、記録化している		<input type="radio"/> 非該当
評価項目2 サービスの開始及び終了の際に、環境変化に対応できるよう支援を行っている		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. サービス開始時に、子どもの保育に必要な個別事情や要望を決められた書式に記録し、把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 利用開始直後には、子どもの不安やストレスが軽減されるように配慮している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. サービスの終了時には、子どもや保護者の不安を軽減し、支援の継続性に配慮した支援を行っている		<input type="radio"/> 非該当
サブカテゴリ-2の講評			
<p>入園前の資料が事前に配布され、説明も丁寧に行なっている</p> <p>入園が決まった家庭には事前に園のしおりと健康管理カードを送付し、園の概要を記載したしおりを読んでもらい、家庭での生活状況・習慣と健康の状況をカードに記載してもらうようにしている。事前に配布する事で、保護者も理解が深まると好評である。入園前の個別面談は3段階に分けて行われており、まず施設長が送迎や保育の主な内容と延長保育などについて説明し、次に看護師と栄養士で発育の状況や食物アレルギーの有無などが確認され、最後にチーフから準備するものや持ち物などが説明される。説明と個々の状況の把握が丁寧に行われている。</p> <p>子どもの個々の状況を把握して記録し、入園直後の不安を減らす配慮をしている</p> <p>入園時の面談では、「健康管理カード」を基にして、子どものお昼寝の長さや時間帯、食事の好き嫌いや食べている量・アレルギーのある食材などを確認している。また、その他にも個別に気を付けて欲しい事などを保護者から聞き取り、面接票に記録している。入園当初の慣らし保育は乳児が1週間から10日間で、幼児は1週間を標準としているが、子どもの状態と保護者の就労の状況に合わせて柔軟に対応している。給食も初めのうちは子どもが食べ慣れているであろう献立(うどん等)にして、子どもの不安やストレスが少なくなるように配慮している。</p> <p>卒園後の同窓会や行事での交流を行い、卒園児の継続的な繋がりを支援している</p> <p>卒園児とその保護者を対象に、6月ごろに同窓会を開催している。同窓会の案内に近況報告の用紙を同封して記入してもらっており、冊子にまとめて欠席者を含めて後日配布されている。同窓会当日は、子どもから小学校で褒められたことや、小学校の授業で好きなものなどを発表してもらっている。同窓会には園の年長組も参加して一緒にゲームをして楽しんでおり、小学生になる楽しみを味わう機会になっている。同窓会以外の行事の案内も卒園児家庭に送付して、継続的に交流を保つ工夫がされている。</p>			

サブカテゴリ-3		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	12/12
3	個別状況の記録と計画策定		
<b>評価項目1</b> 定められた手順に従ってアセスメント(情報収集、分析および課題設定)を行い、子どもの課題を個別のサービス場面ごとに明示している		<b>評点(〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子どもの心身状況や生活状況等を、組織が定めた統一した様式によって記録し把握している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 子どもや保護者のニーズや課題を明示する手続きを定め、記録している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. アセスメントの定期的見直しの時期と手順を定めている		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目2</b> 全体的な計画や子どもの様子を踏まえた指導計画を作成している		<b>評点(〇〇〇〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画は、全体的な計画を踏まえて、養護(生命の保持・情緒の安定)と教育(健康・人間関係・環境・言葉・表現)の各領域を考慮して作成している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画は、子どもの実態や子どもを取り巻く状況の変化に即して、作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	3. 個別的な計画が必要な子どもに対し、子どもの状況(年齢・発達の状況など)に応じて、個別的な計画の作成、見直しをしている		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	4. 指導計画を保護者にわかりやすく説明している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	5. 指導計画は、見直しの時期・手順等の基準を定め、必要に応じて見直ししている		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目3</b> 子どもに関する記録が行われ、管理体制を確立している		<b>評点(〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 子ども一人ひとりに関する必要な情報を記載するしくみがある		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 指導計画に沿った具体的な保育内容と、その結果子どもの状態がどのように推移したのかについて具体的に記録している		<input type="radio"/> 非該当
<b>評価項目4</b> 子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している		<b>評点(〇〇)</b>	
<b>評価</b>	<b>標準項目</b>		
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	1. 指導計画の内容や個人の記録を、保育を担当する職員すべてが共有し、活用している		<input type="radio"/> 非該当
<input checked="" type="radio"/> あり <input type="radio"/> なし	2. 申し送り・引継ぎ等により、子どもや保護者の状況に変化があった場合の情報を職員間で共有化している		<input type="radio"/> 非該当
<b>サブカテゴリ-3の講評</b>			
<p>子どもの状況を把握する仕組みが整っており、保護者への声掛けにも気を配っている</p> <p>日々の保育から子ども一人ひとりの状況を把握し、連絡帳などを通じて家庭での様子を確認して、生活状況全般を「保育記録」に記し、心身の健康状態については「健康ノート」に記録している。「保育経過記録」は時系列に発育状況が記入され、半期毎に確認する仕組みとなっている。保護者とは年に1回面談を実施し、子どもの成長を共有しつつ、意見や要望を聞いて保育の実践の改善に活かしている。また、保護者とのコミュニケーション強化に心掛けており、普段の挨拶にプラスひと言をして、会話が弾むように気を配っている。</p> <p>保育計画はカリキュラム会議で職員が討議して決めて、保護者にも丁寧に説明されている</p> <p>保育の計画は、全体の計画を踏まえて、各クラスで毎月カリキュラム会議を開いて決めている。カリキュラム会議では当月の月間保育計画を振り返り、職員同士が自由に意見交換をして、子どもの様子に応じて改善をした次月の保育計画を作成している。行事を行う際も成長に合わせた行事の狙いを話し合っって実行し、その評価反省も行われている。保護者に対する保育計画の説明は学期が始まる月(4月・9月・1月)に説明会を実施して周知し、説明後に懇親会を開いて保護者からの意見も聞くようにしている。</p> <p>職員全員で子どもを保育する仕組みがあり、徹底して実践されている</p> <p>職員は100名前後の子ども全員の名前と顔を把握して保育を実践している。子どもの出欠状況や健康状態、日々の保育で発生するヒヤリハットなどが「全体ノート」に都度記載がされており、全ての子どもを職員が確認出来るよう、ノートは何時でも閲覧できる。この仕組みと職員の意識で、職員全員で協力しながら保育が展開されており、クラスを超えて職員間で質問やアドバイスが交わされている。担任以外の職員からも子どもの様子を気遣ってもらえたなど、保護者からの感謝の声がある事からも、情報の共有化を徹底している事が推察される。</p>			

サブカテゴリ-5		サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
5	プライバシーの保護等個人の尊厳の尊重		
評価項目1 子どものプライバシー保護を徹底している		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 子どもに関する情報(事項)を外部とやりとりする必要が生じた場合には、保護者の同意を得るようにしている		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもの羞恥心に配慮した保育を行っている		○非該当
評価項目2 サービスの実施にあたり、子どもの権利を守り、子どもの意思を尊重している		評点(〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 日常の保育の中で子ども一人ひとりを尊重している		○非該当
●あり ○なし	2. 子どもと保護者の価値観や生活習慣に配慮した保育を行っている		○非該当
●あり ○なし	3. 虐待防止や育児困難家庭への支援に向けて、職員の勉強会・研修会を実施し理解を深めている		○非該当
サブカテゴリ-5の講評			
<p><b>子どものプライバシーを尊重した取り組みと研修が行われている</b>            個人情報の取り扱いを適正に行う事が入園のしおりに記載され、入園前説明会で保護者に説明がされており、その際に、写真を園内の掲示物や園だよりに使用する事などに関して、保護者から同意書を取得している。プライバシーへの配慮として、乳児クラスのトイレ前にパーテーションを置いたり、プールの着替え時には目隠しをするなどの配慮をしている。また、プライベートゾーン研修会を子ども向けに行い、子ども同士もプライバシーを意識出来るような取り組みが行なわれている。</p> <p><b>子どもには丁寧な言葉遣いで接し、子どもの気づきを大切にしている</b>            保育基本ガイドンスに人権の尊重に関する記述があり、職員に徹底されている。子どもには丁寧な言葉で話しかけて、子どもが自分で気が付くような支援をしている。例えば、危ない行動をしそうになった時には優しく制止して、なぜやってはいけないかを子どもに考えさせて、子どもが気づいたら「そうだね。だからやめようね」と話している。寝る時に持つと安心できるこだわりのもの(タオルなど)がある子どもには自宅から持ってきてもらい、それぞれの生活習慣を受け入れて支援をしている。</p> <p><b>配慮を要する子どもへの対応を巡回指導で学んでいる</b>            特別な配慮を必要とする子どもに対してより適切な対応を行う為に、巡回指導を年間5回受けられるようにして、子どもへの関わり方をきめ細かく学び、実践している。例えば、何かものを作る製作指導の時には、全体に対して説明をした後に、気になる子どもに対してもう一度目を見て直接伝えるようにする事などの配慮を学んでいる。また、虐待が疑われる場合のガイドンスが作成されて、職員間で研修をしている。子どもを守る活動の一つとして、救急救命の講習会も実施した。</p>			

サブカテゴリ-6

6	事業所業務の標準化	サブカテゴリ毎の 標準項目実施状況	5/5
評価項目1 手引書等を整備し、事業所業務の標準化を図るための取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 手引書(基準書、手順書、マニュアル)等で、事業所が提供しているサービスの基本事項や手順等を明確にしている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスが定められた基本事項や手順等に沿っているかどうか定期的に点検・見直しをしている	○非該当	
●あり ○なし	3. 職員は、わからないことが起きた際や業務点検の手段として、日常的に手引書等を活用している	○非該当	
評価項目2 サービスの向上をめざして、事業所の標準的な業務水準を見直す取り組みをしている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 提供しているサービスの基本事項や手順等は変更の時期や見直しの基準が定められている	○非該当	
●あり ○なし	2. 提供しているサービスの基本事項や手順等の見直しにあたり、職員や保護者等からの意見や提案、子どもの様子を反映するようにしている	○非該当	

サブカテゴリ-6の講評

業務ガイドンスが整備され、OJTを活発に行って業務標準化が図られている

保育園の職務に関する分かりやすい業務ガイドンスが整備されており、保育関連で7種類、保健関係で9種類、給食で3種類などのガイドンスがある。例えば保育関連ガイドンスの一つの連絡帳ガイドンスには、連絡帳の記述で誤解を生みやすい例などが記載され、標準となる業務が実践的に示されており、これらのガイドンスと活発に実施されているOJTによって業務の標準化が図られている。ガイドンスは関連法規が改正になった時や必要な都度見直しており、文書管理責任者により更新の管理がされている。

職員や保護者の意見を聞いて、保育の改善を進めている

職員の意見をサービスの改善に繋げている。例えば、乳児の受け入れの場所を1か所にして、保護者と子どもの導線がすっきりしてスムーズな受け入れに繋げたり、保育室の間仕切りの位置をずらして、子どもが死角に入らない様にして事故を未然に防いだりと様々な改善が職員の提案で行われている。また、保護者からの行事参加者を増やして欲しいとの要望に応じて、感染対策などを再検討し、参加者制限を緩和する事が出来たなど、より良い保育へ向けた前向きな取り組みが行われている。

Ⅲ サービスの実施項目(カテゴリ-6-4)

		サブカテゴリ-4	
サービスの実施項目		サブカテゴリ毎の標準項目実施状況	35 / 35
1 評価項目1 子ども一人ひとりの発達の状態に応じた保育を行っている		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 発達の過程や生活環境などにより、子ども一人ひとりの全体的な姿を把握したうえで保育を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 子どもが主体的に周囲の人・もの・ことに興味や関心を持ち、働きかけることができるよう、環境を工夫している	○非該当	
●あり ○なし	3. 子ども同士が年齢や文化・習慣の違いなどを認め合い、互いを尊重する心が育つよう配慮している	○非該当	
●あり ○なし	4. 特別な配慮が必要な子ども(障害のある子どもを含む)の保育にあたっては、他の子どもとの生活を通して共に成長できるよう援助している	○非該当	
●あり ○なし	5. 発達の過程で生じる子ども同士のトラブル(けんか・かみつき等)に対し、子どもの気持ちを尊重した対応をしている	○非該当	
●あり ○なし	6. 【5歳児の定員を設けている保育所のみ】 小学校教育への円滑な接続に向け、小学校と連携をとって、援助している	○非該当	
評価項目1の講評			
<p>子どもの個性を把握して、その子にとってより適切な保育の実践を目指している</p> <p>入園前にそれまでの生活状況や習慣などを調査して把握する様式があり、保護者との個別の面談で聞き取りを行なっている。入園後も日々の保育を通じて、子どもの個性を把握する取り組みがある。例えば、子どもが機嫌を損ねている時に、抱っこをした方が良いのか、ギューツとした方が良いのか、優しく見守った方が良いのか、職員間で話し合いながら試行錯誤をして、個性を見極め、その子どもに合った対応をするようにしている。この時におこったその子どもに対する適切な対応は、職員会議などで共有化が図られている。</p> <p>年齢を超えた子ども同士の交流を促進して、子どもの成長を支援している</p> <p>保育室がオープンな環境であり、年齢を超えて子ども同士が関わりを持つ機会が多く、掃除の時に年長の子が年少の子に掃除のやり方を教えたりしている。園の活動の中でも全員で朝の体操をしたり、行事等で異年齢が交流が出来るような配慮がされている。時には、子ども同士でトラブルとなる事もあるが、その時には一方を非難するのではなく、双方の気持ちを汲み取る声掛けをして、謝るべきだと子どもが納得するように指導が行われている。様々な関係の中で子どもが成長していく支援を実施している。</p> <p>小学校進学に向けて、体力作りや集中力作りなどに取り組んでいる</p> <p>幼児クラスになると、みんなの前で発表する機会があり、乳児の時とは違う体験を積んでいる。体操教室や散歩を通じて体力作りにも力を入れており、年長児は逆上がりや前転が出来る子が多く、遠足も駅まで往復1時間を歩いて動物園まで行く体力がついている。小学校進学を控えて、年長児の知育教室は小学校の1時限の時間に合わせたワークの時間があり、集中力の養成にも取り組んでいる。卒園を控えた2月ごろには保育園と小学校の教諭が連絡を取り合い、必要な情報交換をして卒園に備えている。</p>			

2 評価項目2 子どもの生活が安定するよう、子ども一人ひとりの生活のリズムに配慮した保育を行っている		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 登園時に、家庭での子どもの様子を保護者に確認している	○非該当
●あり ○なし	2. 発達の状態に応じ、食事・排せつなどの基本的な生活習慣の大切さを伝え、身につくよう援助している	○非該当
●あり ○なし	3. 休息(昼寝を含む)の長さや時間帯は子どもの状況に配慮している	○非該当
●あり ○なし	4. 降園時に、その日の子どもの状況を保護者一人ひとりに直接伝えている	○非該当
評価項目2の講評		
<p>登降園時には保護者との会話に心掛け、子どもの様子を伝えたり聞いたりしている</p> <p>登園時は乳児は各クラスで受け入れを行い、幼児は玄関で受け入れる様にしており、その時に家庭での子どもの様子を聞いている。体調の変化や気を付けるべき点があれば、「全体ノート」に記載して全員が共有する事になっている。前日に欠席した子どもや変わった様子があった場合は、職員から尋ねる事としており、担任以外も子どもや家庭の状況が把握できる様に、事前に職員間で情報が共有されている。降園時にもその日の様子を伝えることに努めているが、コロナがまん延した時には、保護者の退出を急いでもらったため、十分出来ない時もあった。</p> <p>子どもの発育に合わせた生活習慣が身に付くような支援が行われている</p> <p>子ども一人ひとりの発育の状況は「保育経過記録」に記載され、それを参照して食事やトイレトレーニング・手洗いやうがい・着替えなどの生活習慣が身に付くような計画が立てられて指導が行われている。手洗いやうがいについては看護師が作成したイラストが洗面所に貼ってあり、子どもたちが真似しやすい工夫がなされている。今回の利用者アンケートでも「食事のマナーやトイレトレーニングなど、家ではなかなか出来ないことにも取り組んでいただき助かっています」との感想が寄せられている。</p> <p>生活のリズムを感じられるように、様々な保育プログラムを実施している</p> <p>一日の保育の中でも、自由に遊ぶ時間・みんなで一緒に製作をする時間・体操をする時間などと緩急のある様々なプログラムを行い、生活のリズムに配慮した保育が実施されている。昼食後は異年齢で集まって、季節に合った音楽を聴きリラックスする時間を過ごすような工夫もされている。お昼寝をする時間は、各家庭と連絡を取りながら、その日の体調や個別の習慣にも配慮して柔軟に対応している。また、年中児以降は体力がある為、お昼寝をせずに過ごすなど、生活リズムを考えた保育をしている。</p>		

3 評価項目3		日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している		評点(〇〇〇〇〇〇)	
評価		標準項目			
●あり ○なし		1. 子どもの自主性、自発性を尊重し、遊びこめる時間と空間の配慮をしている		○非該当	
●あり ○なし		2. 子どもが、集団活動に主体的に関われるよう援助している		○非該当	
●あり ○なし		3. 子ども一人ひとりの状況に応じて、子どもが言葉による伝え合いを楽しみ、言葉に対する感覚を養えるよう配慮している		○非該当	
●あり ○なし		4. 子どもが様々な表現を楽しめるようにしている		○非該当	
●あり ○なし		5. 戸外・園外活動には、季節の移り変わりなどを感じとることができるような視点を取り入れている		○非該当	
●あり ○なし		6. 生活や遊びを通して、子どもがきまりの大切さに気付き、自分の気持ちを調整する力を育てられるよう、配慮している		○非該当	
評価項目3の講評					
<p><b>子どもの自主性や創造力を大切にした保育を行なっている</b></p> <p>子どもの自主性や創造力を支援する保育が行なわれている。例えば、水を使った製作遊びをしようとした時に、子どもたちから「流しそうめんを作りたい」との声があがり、子ども達が考えて竹の代わりに牛乳パックを樋として使ったり、上手く流れるグループと流れないグループの違いを自分達で見つけて改善が出来るよう支援がされている。また、おもちゃや素材(紙やモール等)を自由に使える時間を設けて、子どもたちの自由な発想による遊びを促進しており、段ボールとモールで上手にブランコを作る子など、子どもの個性の発見にも繋がっている。</p> <p><b>集団での生活になじめる保育や自然を感じられる保育が実施されている</b></p> <p>集団で取り組む協同制作を実施しており、友達と協力する事を学ぶ機会がある。おまごでは子ども同士の言葉のやり取りを楽しめるように小さなテーブルやおもちゃの食器など環境を整えている。運動会やお遊戯会など皆が力を合わせて行う行事も多く、集団の活動に慣れる事や友達と関わる事を学んでいる。集団で出かける散歩にも力を入れており、季節を感じられる近隣の公園などに出掛け、散歩中に見つけた木の実を製作に使ったり、おもちゃにしたりと自然に触れる楽しさを感じられるよう工夫がされている。</p> <p><b>体力作りに取り組み、年長クラスは長距離の散歩や遠足が出来ている</b></p> <p>体力作り積極的に取り組んでいて、乳児の頃から散歩車を使ったり、徒歩で行ったりと頻繁に散歩に出かけている。幼児は午後のおやつ時間まで体操着で過ごし、思い切り身体を動かす事が出来るようにしており、広い保育室や広い園庭を元気に遊びまわっている。外部に委託して体操教室を行っており、年長児は逆上がりや前転が出来る子も多く、俊敏性やバランス感覚が養われているためか、園庭で走り回ってもぶつからない様にお互いが上手に避けながら遊んでいる。体力作りの成果として、長距離の散歩や遠足が年長児では出来る様になっている。</p>					

4 評価項目4		日常の保育に変化と潤いを持たせるよう、行事等を実施している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 行事等の実施にあたり、子どもが興味や関心を持ち、自ら進んで取り組めるよう工夫している			○非該当
●あり ○なし	2. みんなで協力し、やり遂げることの喜びを味わえるような行事等を実施している			○非該当
●あり ○なし	3. 子どもが意欲的に行事等に取り組めるよう、行事等の準備・実施にあたり、保護者の理解や協力を得るための工夫をしている			○非該当
評価項目4の講評				
<p>行事を行なうねらいを明確にして、皆が楽しめる工夫をしている</p> <p>年間を通じて多くの行事を行なっている。それぞれの季節に合わせて、春の遠足・夏祭り・秋の遠足・クリスマス会など子どもが季節を感じながら楽しめるようにしている。行事の前に、職員はその行事のねらいを年齢に応じて定め、成長に合わせた活動が出来るように、遠足の場所を体力に合わせて適切に選んだり、クリスマス会で年長児から乳児までそれぞれが楽しめる楽器を演奏したりと、皆が参加して楽しむ工夫をしている。</p> <p>練習を重ねてみんなで取り組む運動会やお遊戯会を大切にしている</p> <p>運動会やお遊戯会はクラス皆で作上げる行事として、実施前から時間を掛けて練習を重ねている。最初は上手く出来なくても、友達同士で教え合ったり、真似をしながらクラスが纏まっていくように指導がされている。コロナ禍でクラス毎に実施していた運動会を、今期は2クラス同時開催とした事により、別のクラスの競技を見て応援する事や応援される事で子どもの感動がより大きくなった。乳児クラスでは「生活表現会」として普段行なっている手遊びなどを披露する会を実施しており、みんなと一緒にやる経験を大切に保育をしている。</p> <p>コロナの制約がある中でも、ライブ配信や日程調整をして行事をやり遂げている</p> <p>コロナ禍での制限に負けずに、何とか工夫をして行事を開催してあげたいと職員が努力をしている。例えば、お遊戯会は室内で一堂に会して行う為、保護者の参加が難しかったが、職員のアイデアで「ライブ配信」方式で披露する事とした。各クラスの保護者毎にアクセスパスワードを渡し、自宅等で子どもたちの演技を見てもらう事が出来た。保護者や祖父母も視聴する事が出来たなどの好評があった。また、新型コロナウイルスの発生で中止となったクラスの運動会も、別の場所の確保をし、日程を変えて実施をするなど、職員の熱意により行事をやり遂げている。</p>				
5 評価項目5		保育時間の長い子どもが落ち着いて過ごせるような配慮をしている		評点(〇〇)
評価	標準項目			
●あり ○なし	1. 保育時間の長い子どもが安心し、くつろげる環境になるよう配慮をしている			○非該当
●あり ○なし	2. 保育時間が長くなる中で、保育形態の変化がある場合でも、子どもが楽しく過ごせるよう配慮をしている			○非該当
評価項目5の講評				
<p>延長保育時は、年齢の異なる子どもたちと同じ部屋でゆったり過ごしている</p> <p>延長保育は19時までとなっており、途中で軽食を提供している。延長保育時は年齢の異なる子どもたちを2歳児クラスの保育室を使って、床に座ってゆっくりと過ごしながら保育を行っている。延長時間だけの遊びもあるなど、子どもが興味を継続できる工夫がされている。年齢の異なる子どもが同じ部屋で過ごすため、年長児と乳児とは少し離したり、大きな子の動きに特に注意したりと保育者は気を付けている。子どもたちはお互いに声を掛け合ったり、教え合ったりしながら遊んでいる事が多い。</p> <p>少人数の延長保育では新たな子どもの個性を発見する事もあり、保育に活かしている</p> <p>延長保育時は子どもの数が少なく、少人数で子ども同士が関わって遊ぶので、大人数の時には見えなかった子どもの個性が発揮されることがあり、保育者にとっても新たな発見となっている。例えば、普段は口数が少ない子どもが、延長保育の時は、おままごとを楽しそうにしながら、おしゃべりが止まらないなど、新たな一面を発見する事がある。延長時は担任以外が保育に当たる事もあり、新たに気づく子どもの個性は、引き継ぎ事項として職員間で共有されている。</p>				



6 評価項目6 子どもが楽しく安心して食べることができる食事を提供している		評点(〇〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが楽しく、落ち着いて食事をとれるような雰囲気作りに配慮している	○非該当
●あり ○なし	2. メニューや味付けなどに工夫を凝らしている	○非該当
●あり ○なし	3. 子どもの体調(食物アレルギーを含む)や文化の違いに応じた食事を提供している	○非該当
●あり ○なし	4. 食についての関心を深めるための取り組み(食材の栽培や子どもの調理活動等)を行っている	○非該当
評価項目6の講評		
<p><b>食事を始める為の雰囲気作りをしたり、食事マナーにも気が配られている</b></p> <p>幼児クラスでは食事を始める前に当番が今日のメニューを発表し、これからみんなで給食を食べようとの雰囲気作りをしている。また、乳児クラスは遊ぶスペースと、机と椅子のあるスペースを分けてあり、食事の時には机と椅子のスペースに移動する事で、自然と椅子に座って給食を待つ体制になっている。栄養士が子どもと一緒に食事をとりながら喫食状況を観察したり、しっかりと噛んで食べているか、姿勢が悪くなっていないかなど、健康や食事のマナーにも気を配っている。</p> <p><b>アレルギーや体調にも細やかな配慮をして食事を提供している</b></p> <p>食物アレルギーについては、医師による生活管理指導表を入園前と毎年度提出してもらい管理したうえで、除去食を提供して対応している。行事食がフルーツサンドの時などは、小麦アレルギーへの対応として「米粉パン」を使用するなど、みんなで楽しめる配慮がされている。体調が思わしくない時は、量を減らしたり、やわらかくしたりと個別の対応がされている。苦手な食べ物も少しずつから始めて、まずは「食べられた」と自信をつける事を大切にしており、利用者からは「あまり好きではないものも園では食べている」と感謝の声がある。</p> <p><b>野菜の栽培や野菜洗いなどで食に関心を持たせ、食材の苦手克服にも繋がっている</b></p> <p>子どもに食への関心を持ってもらうために、旬の食材一覧表があったり、幼児と野菜作りをしたり、乳児に野菜を洗わせたりと様々な工夫を凝らして食育に取り組んでいる。園での野菜栽培は、子どものリクエストによって作る野菜を決めており、オクラやスイカなどに挑戦している。自分で育て収穫した野菜は、今まで食べられなかった子どもも、美味しいと食べるようになったなど、育てる楽しさと食べる楽しさを味わう体験となっている。幼児は芋ほり体験があり、乳児はバケツに芋と砂を入れて疑似芋ほり体験をさせるなど、食に関心を持たせる工夫がある。</p>		
7 評価項目7 子どもが心身の健康を維持できるよう援助している		評点(〇〇〇)
評価	標準項目	
●あり ○なし	1. 子どもが自分の健康や安全に関心を持ち、病気やけがを予防・防止できるように援助している	○非該当
●あり ○なし	2. 医療的なケアが必要な子どもに、専門機関等との連携に基づく対応をしている	○非該当
●あり ○なし	3. 保護者と連携をとって、子ども一人ひとりの健康維持に向けた取り組み(乳幼児突然死症候群の予防を含む)を行っている	○非該当
評価項目7の講評		
<p><b>手洗いや歯磨き、便通体操など生活習慣を考えた取り組みが行われている</b></p> <p>看護師による手洗いや歯磨き指導を行なっている。歯磨き指導は、コロナ禍でもあり、ブラシや水を使わずに練習する方法を工夫して、手作りの紙製の歯ブラシを使うなど、延期や中止をすることなく必要な時期に適切な生活習慣が身に付くための取り組みが実施された。また、便通を改善する事を目的に腸活体操を今年から導入した。これは、今各地で取り入れられつつある体操を職員が見つけて、朝の全員体操に取り入れたもので、子どもたちが大きく腰を動かしたり伸びをするなど、楽しみながら取り組んでいた。</p> <p><b>嘱託医と連携して子どもの健康管理をしており、救急救命の研修も実施した</b></p> <p>内科・歯科の嘱託医がおり、0歳児健診を毎月行い、健康診断は全園児を対象に年2回実施し、歯科検診も全園児を対象に年1回実施している。定期的な健診以外でも何かあれば園の看護師が嘱託医に相談をするなど、園と医療機関との良好な関係が継続されている。看護師は朝と夕方に園内を巡回して、子どもの様子を確認しながら、ぶつけたり擦り傷を負った時の処置をして、保健日誌に記録を残している。過去に園内でいきつけを起こした子どもがいた事から、救急救命の研修を今期園内で実施した。全職員が受講できるように複数回に分けて行なわれた。</p> <p><b>午睡チェックや健診と家庭での予防接種等を共有し、連携して健康管理をしている</b></p> <p>乳幼児突然死症候群を予防する為に、睡眠チェック機器が導入され、0歳児は5分おき、1・2歳児は10分おきにチェックをして、睡眠の様子などを保護者へ連絡帳や口頭で伝えている。3歳児の秋以降はお昼寝をしなくて過ごす事が多く、個別の状況に合わせた午睡チェックが行われている。園には「健康ノート」があり、健診や身体測定の結果等を園から知らせ、保護者からは予防接種の接種日や罹った病気や大きなケガなどの報告をもらっている。3歳児健診などは園にも結果を知らせてもらうよう、結果報告用紙を配布して、保護者との連携を図っている。</p>		

8 評価項目8 保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている		評点(〇〇〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 保護者には、子育てや就労等の個々の事情に配慮して支援を行っている	○非該当	
●あり ○なし	2. 保護者同士が交流できる機会を設けている	○非該当	
●あり ○なし	3. 保護者と職員の信頼関係が深まるような取り組みをしている	○非該当	
●あり ○なし	4. 子どもの発達や育児などについて、保護者との共通認識を得る取り組みを行っている	○非該当	
●あり ○なし	5. 保護者の養育力向上のため、園の保育の活動への参加を促している	○非該当	
評価項目8の講評			
<p><b>延長保育の当日利用や行事の日程調整などで、保護者の就労を支援している</b>  0歳児から5歳児までの子どもを受け入れ、延長保育や土曜保育が行なわれている。延長保育は月極と1日利用が設定されており、1日利用は、当日14時まで連絡をすれば利用が可能で、保護者からも「電話連絡で対応して頂けるので、ありがたいです」との声が寄せられている。運動会など保護者の参加が見込まれる行事は土曜日か日曜日に実施する配慮をし、保育参観も日程を複数日用意して、仕事の都合を付けやすいように工夫がされている。保護者も新年会などの行事の際にスタッフとして協力するなど、園と保護者の信頼関係が深い。</p> <p><b>保護者同士が自然に交流できるように配慮して参観や懇親会を実施している</b>  保護者同士が交流を盛んに行えることを意図した行事を実施している。例えば、乳児クラスの保育参加では、子どもと保護者が交じってそれぞれのグループに参加し、保護者同士が自己紹介したり、ゲームを行ったりする企画が実施されている。その他、運動会や夏祭りなど保護者が参加できる行事やカリキュラム説明会の終了後に懇親の場を設けるなど、保護者同士の交流を促進する配慮がされている。</p> <p><b>保護者と職員が話をする機会作りに努めており、個人面談や懇親会や個別相談をしている</b>  保護者との個人面談を年1回実施している。それ以外でも幼児は年2回、乳児は年1回の保育参加があり、カリキュラム説明会が年3回行われるなど、頻繁に保護者と職員が話し合える機会がある。更に、このような決められた機会でなくとも、日常的に声掛けや連絡帳などでコミュニケーションが図られており、子どもの成長の具合や友達関係、育て方などについて気になる事があれば個別に時間を設けて相談を受けている。利用者アンケートでも「都度気付いた事をアドバイスしてくれて助かっている」という声がある。</p>			
9 評価項目9 地域との連携のもとに子どもの生活の幅を広げるための取り組みを行っている		評点(〇〇)	
評価	標準項目		
●あり ○なし	1. 地域資源を活用し、子どもが多様な体験や交流ができるような機会を確保している	○非該当	
●あり ○なし	2. 園の行事に地域の人の参加を呼び掛けたり、地域の行事に参加する等、子どもが職員以外の人と交流できる機会を確保している	○非該当	
評価項目9の講評			
<p><b>中学校と連携した世代間交流や、地域の子育て支援をしている</b>  園の近隣にある小公園や大きな郷土の森公園などの地域資源を活かして、散歩や園外活動をしている。また、中学校と連携をして、年長児が中学校の家庭科の授業に参加し、生徒役として交流を図っている。地域の子育て世帯を支援する為に乳児交流会を月1回のペースで実施して、保育園での生活を体験してもらい、園の絵本を読み聞かせたり、遊具を使って親子が一緒に遊んだりしている。地域子育て支援としては「赤ちゃんふらっと」の施設としても登録しており、おむつ替えなどで気軽に利用できるようになっている。</p> <p><b>卒園生との関係を大切にしている</b>  卒園生との関係の継続を大切にしており、卒園後の6月に同窓会を開催したり、コロナ禍前は保育者が小学校の運動会に卒園生の応援に出向いていた。卒園後も園に遊びに来て、園庭で在園児と遊ぶこともあるとの事で、保育園時代の生活が楽しいものであったことが推察される。また、卒園児が小学校を卒業した時や中学校に入学した時に、式を終えたその足で、親子が揃って園に挨拶に来ることがよくあるらしく、子どもや保護者と保育園との繋がりの強さが推察された。</p> <p><b>コロナ禍前に実施していた多彩な地域交流行事の復活を期待したい</b>  コロナ禍以前は多くの地域交流の行事が実施されていた。例えば、運動会や夏祭りに地域の自治会などの人を招待したり、高尾山や多摩動物公園など多くの人と触れ合う遠足を実施していた。また、近隣の広場を借りて行う「一日動物園」には地域の人達も参加し、園児は餌やり体験などで動物飼育員の方や地域の方々と交流し、いつもとは違う体験を楽しんでいた。徐々に復活してはいるが、コロナ禍が落ち着いた際には是非再開される事を期待したい。</p>			

事業者が特に力を入れている取り組み①		
評価項目	6-4-8	保護者が安心して子育てをすることができるよう支援を行っている
タイトル①	保護者に余裕をもって接し、気持ちを受容してコミュニケーションを深めている	
内容①	保護者と接する際は、挨拶に加えてひと言声を掛けるように心掛けている。「素敵な服ですね」とか「髪、切ったの？」など、出来るだけ明るい声で話しかける事で、保護者から声を掛けてもらいやすくなる。子どもの体調変化を共有したり、保護者の悩みを聞いたりコミュニケーションを多くとる事を心掛けている。必要な時には個別に保護者と話をする時間を持って、園での状況を伝えたり、保護者の相談に乗ったりしている。一日単位で利用できる延長保育も、当日の14時までには連絡をすれば利用可能であり、保護者の就労を助ける仕組みとなっている。	

事業者が特に力を入れている取り組み②		
評価項目	6-4-3	日常の保育を通して、子どもの生活や遊びが豊かに展開されるよう工夫している
タイトル②	環境を整え、子ども一人ひとりがのびやかに過ごし、成長する事を支援している	
内容②	常に子どもの生活環境に目を配り、改善を重ねている。例えば、乳児用のロッカーをスライド式のオートストップ付きのものに変えた事で、自分で片付けや準備ができるようになった。また、乳児保育室内の区域割を変えて、椅子やテーブルを常設しておく区域と、広く遊びまわる区域を分ける事で、食事の時に遊びの空間から机のある空間へ移動する事で、食事をする雰囲気となるなど、生活の切り替えが自然と出来るようになった。	

事業者が特に力を入れている取り組み③		
評価項目	6-3-4	子どもの状況等に関する情報を職員間で共有化している
タイトル③	職員間のコミュニケーションが活発で、子どもの状況を職員全員が把握している	
内容③	保育室はオープンな環境であり、保育者同士の会話がしやすい。子どもの出欠やヒヤリハット事例などは「全体ノート」に記載され、直ぐに全員が把握出来る仕組みがある。子どもがクラスを超えて異年齢で遊ぶ機会が多くあり、それぞれの担当が様々な子どもに接して、自分の受持ち以外の子どもの状況を把握する事に努めている。隣のクラスの様子についても職員同士が気軽に話し合えるコミュニケーションの良さがある。	

No.	特に良いと思う点	
1	タイトル	職員全員が子どもたちみんなを覚え、情報を共有しながら保育を実践しており、保護者との連携にも努めている
	内容	職員は、子ども全員の名前と顔を覚える事を当たり前として取り組んでおり、当然保護者の顔と名前も全員把握している。その上で、日々の子どもたちの状況変化を「全体ノート」に記載し職員全員が共有する仕組みがある為、担任ではない職員でも、個々の子どもの様子を把握しており、保護者との受け渡しの際などに伝える事が出来ている。保護者からの相談にも都度応じており、保護者と園が連携して子育てをしている。
2	タイトル	子どもの年齢に応じた体力作りや知育教室を通じて、子どもの成長を促す保育を実施している
	内容	広い保育室と広い園庭に恵まれ、子どもはのびのびと遊びまわる事が出来ている。朝の体操や近隣への散歩が乳児の頃から行われているほか、外部講師を招いた体操教室も継続して行なわれており、年長児になると遠方への散歩が出来る体力がついている。知育教室では、年少児は考えて遊ぶ事や自分の気持ちを伝える事などを学び、年長児は小学校の時間割に合わせた40分間のワークをするなど、それぞれの年齢に合わせて、成長を促す保育が実践されている。
3	タイトル	実務に即した多様な業務ガイダンスが整備されており、職員同士が学び合える環境がある
	内容	園の活動を網羅した業務のガイダンスが42種類整備されている。保育・保健をはじめ災害・危機管理や給食・事務までの業務について、職員の実践的な経験に基づいた基準や留意点が記載されている。例えば保育ガイダンスは、朝の仕事・連絡帳・製作指導などの7種類が策定されており、実例を交えた分かりやすい内容となっている。新人の指導ばかりではなく、職員同士の学びのツールとしても活用出来る環境が整っている。
No.	さらなる改善が望まれる点	
1	タイトル	キャリアパスの整備など人材育成への取り組みの強化を期待したい
	内容	現在当園では、職員の個人面談で目標の確認が行われ、キャリアアップ研修をはじめとする各種研修への参加が促進されている。また、今期は研修計画が整備され、経験年数ごとに取得して欲しいスキルと内容が明示されて、受講する研修の目安として活用されている。これらの個々の仕組みを連動させて、園としてのキャリアパス(目指す人材像とその取得手段・道筋)を策定することを勧めたい。キャリアパスに沿って個人別の育成計画を作り、評価と次年度目標の設定を繰り返して、人材育成への取り組みが強化される事を期待したい。
2	タイトル	現在認識している中期課題に全員で取り組むためにも、中期計画の策定を勧めたい
	内容	単年度の事業計画書や報告書には、少子化の進展や職員確保の問題、近隣への施設新設など中期的な課題が認識されて記載されている。また、当園は開園25年を迎え、大規模整備を視野に入れ、資金の準備がなされている。これら中期的な課題に対して、幹部職員を中心に全員が参加して討議を行う事で、対処すべき課題の漏れや抜けを防ぎ、必要な対策を幅広く検討出来る効果が見込まれるため、中期計画の策定に取り組まれることをお勧めしたい。
3	タイトル	重要なリスクに対する事業継続計画(BCP)の作成が望まれる
	内容	災害対応や危機管理のガイダンスが整備されており、想定される事象が発生した時の対応が記載されている。想定されるリスクの中から、事業所にとって発生可能性が高く、且つ事業継続に与える影響が大きいものを選定し、発生時の対応だけではなく、事業を如何にして通常状態に戻していくかの計画となるBCPの作成を望みたい。地域にとっても利用者にとっても無くてはならない保育園として、地域での連携も考慮した取り組みを期待したい。